

大川小学校

釜谷地区の大川小学校は、2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災で亡くなった人々の慰霊碑の中でも最も悲しく辛いもののひとつです。この運命が決された日、津波の巨大な波が北上川を駆け上がって学校を破壊し、生徒 108 人中 74 人、さらに 11 人の教師のうち 1 人を除く全員が命を落しました。

災害の規模を伝えるため、学校の遺構が保存されており、今では緑の草で覆われ野生の花があちこちに咲く校庭が一般公開されています。震災について伝える展示が学校の敷地中に設置されており、その中には地震前と直後の学校の写真もあります。おそらく、最も見る人の心を動かすのは、将来を見据えるコミュニティの再生と強さの証として学校の遺構の前に建てられた「Angel of Hope（希望の天使）」像です。